



小中学校入学式

暖かな春の日差しに桜舞う4月7日(月)、大崎町内各小・中学校で入学式がおこなわれました。小学校86名、中学校99名の児童・生徒が期待に胸を膨らませ、新しい学校生活をスタートしました。

大崎小学校では、53名の新一年生が、来賓の方々や先生、上級生に見守られながら緊張した表情で入場し、話を聞いていました。退場時には少し表情が和らいでキラキラとした笑顔が見られました。

同日の午後、初々しい制服姿の新一年生99名が、大崎中学校に入学しました。一人一人名前を呼ばれ「はい!」と返事をする姿に保護者の方もお子さんの成長を感じられたのではないのでしょうか。新入生代表の植松康大さんは、「文武両道を目指してさらに成長したい。両親や地域の方々に感謝の気持ちも忘れず中学生生活を充実させたものにします」と決意と感謝を話しました。



持留さくらさくら祭

4月6日(日)、持留地区改善センターにおいて持留公民分館主催による、さくらさくら祭が開催されました。当日は、満開となった桜が祭を彩りました。

持留小学校児童による学校紹介、ダンスや校歌の披露から舞台が始まり、演奏やフラダンス、ダンス披露で会場を盛り上げました。また飲食やマルシェなどの出店、祭りの最後にはハズレなしの抽選会などもあり、来場者は楽しんでいる様子でした。



地域おこし協力隊活動報告会

3月30日(日)、中央公民館大ホールにて地域おこし協力隊活動報告会が開催されました。

令和6年度中に大崎町に在籍していた9名のこれまでの活動やこれからの目標が報告され、参加者からは「地域おこし協力隊の活動を詳しく知ることができた」「もっと多くの町民の方に聞いていただきたい」「今後の展開が楽しみです」といった感想が寄せられました。

今後は、大崎町で活躍する地域おこし協力隊の活動報告会を定期的開催いたしますので、皆様の参加をお待ちしております。